阪神医療生活協同組合 小中島支部

きらめき

2023 2月号 No.72

発行：阪神医療生活協同組合
小中島支部編集委員会

小中島支部の飛躍の基礎を固める年に

小中島支部長　松上辰之

新しい年を迎え皆様とともにお祝いいたします。
がしかしウクライナでは今も戦争か続き、軍事独裁政権下のミャンマー、パレスチナの人々、貧困や困難に陥っている世界の子供たちなどの現状を見ると、祝って善いのかと心が騒ぎます。

今年は、小中島支部が飛躍する基礎を固める年にしたいと思っています。総代さん、ニュース手配りさんをはじめより多くに「担い手」さんになっていただく。もっと多様な年代、とりわけ若い人が参加できる支部づくりを目指したいと考えています。

今年は、日本は大きな二つの道の岐路に立っています。一つは、軍事費を倍増させ敵基地攻撃能力を持った軍事大国になる道を行くのか、憲法九条を守り平和国家の道を進むのか。二つには、原発に依存する道を押し進めるか、福島原発事故の教訓を生かし脱原発の道を行くのか。

今年は、私たちはこの「反戦」「反核」をめぐって一人一人が問われています。その答えによって私たちの暮らしや地域が、そして未来が大きく変わるのではないでしょうか。

皆で考え答えを出していきたいなぁと考えています。

今年もよろしくお願いします。

皆さん、楽しい地区活動に参加されませんか？

日常の地区活動には多くの方々が参加、それもほとんどお手伝いとしてです。昨年1 2 月の職員さんと合同の「クリーン作戦」、小園小3 年生の「里芋掘り」支援、そして先月の小園小「地区別集団下校引率」、すべて忙しい午前中の行事でしたが多くの組合員の皆さんやお友達それと父兄の参加があったので、結果としてすべて楽しくまた意味ある結果を得ています。これからも可能な限り皆さんの参加で地区の活動を支えて行こうではありませんか。

里芋掘りについては中に詳細に報告しています。

出発前の地区別集団下校引率の皆さん

クリーン作戦参加の皆さん

各種お知らせ

東園田花の会より会員募集

私達は「サポートセンターゆんたく」の花壇の手入れをしているボランティアグループです。花を育てるのに興味ある方はもちろんですが野菜作りをしたいと思っておられる方も歓迎です。野菜作りの経験のある方、作業はもう出来ないけれどアドバイスなら出来るという方も大歓迎です。

毎月第１土曜１０時３０分～１１時３０分頃迄会員が居ますので見学に来て下さい。

連絡先　阪神医療生協 地域活動サポートセンター
TEL　０６・６４９１・８８２２

ふるさと雪まつり開催

第２９回ふるさと雪まつりが開催されます。新型コロナ拡大予防のため、今回は飲食の出店はありません。マスクを着用して皆様お揃いでご来場ください。香美町特産品コーナーはあります。

日時：２月１１日（祝）
　　１０時～１４時
会場：丸橋公園（尼崎市口田中１丁目）
プログラムは変更になる場合があります。

- 10:00 開会
- 10:40 雪だるまコンテスト
- 11:00 未来太鼓道場（和太鼓）
- 11:45 園田中学校吹奏楽部
- 12:30 双星高校吹奏楽部
- 12:50 雪合戦ゲーム
- 14:00 閉会

新グループが二つ登録されました

☆「Let’s　enjoy　English!」　英会話を楽しめるイベントを行います。 対象は小学生で、不定期で年数回行われます。（代表：岩下瓊苓）

☆「コスモス」：ご近所で仲良くなろうとする集まりです。何かあった時にお互い声を掛け合いまた助け合えるようにします。（呼びかけ人：坂本敬子）
活動場所：愛逢ふれあいセンター　活動日：偶数月第 ２月曜

皆様へ　この「きらめきニュース」の内容に関するご意見やご希望あれば
地域活動サポートセンターセンターまたは編集委員会まで御連絡下さい。

小園小３年生の「里芋掘り」支援

地域学校協働活動

令和2年から小園小学校のお手伝いを支部で行っています。令和4年度は「下校見守り」を4回、また「まち探検」もお手伝いしました。昨年12月に行ったこのお手伝いは、環境学習の一環の「里芋掘り」の支援でした。私達が普段行っているこれらのお手伝いはすべて「**地域学校協働活動**」と言われているものです。今回の「里芋掘り」支援はこれまでとは全く形の違うもので、これまで交流のなかった方々が中心的な働きをされました。

コミュニティファーム尼崎善法寺

１２月７日の小園小３年生の「里芋掘り」の見守りは、学校と地域のパイプ役をされている**地域学校協働活動推進委員（コーディネーター）**の方から支部に依頼があり行ったものです。支部から組合員に連絡があったので、当日は朝早くから皆さんが校庭に集まりました。生徒たちは帰りに里芋をもらえることを事前に聞いていたのか、それを背負えるバッグを皆持参していました。里芋掘りの場所は学校の少し東の方の弥生ヶ丘墓園の西側にあるマンションの南側の「コミュニティファーム尼崎善法寺」という畑です。約140名の生徒たちは学校を9時前に出発しました。途中生徒たちは先生や見守りの皆さんの注意を受けながら歩き、なんとか現地に定刻前に到着しました。会場には20名を超えるお手伝いが来られていました。

お世話された皆さん

お世話いただいた皆さん

今回の活動にはふだん我々が知らない方や、団体の皆さんの協力がありました。「コミュニティファーム尼崎善法寺」は、JR西日本の特例子会社（JR 西日本が障がい者雇用を促進するため設立した会社）の「JR西日本あいウィル」さんが地元の方から借り受けている農地です。社員から「農業をやりたい」との声が上がったことから、将来事業として農業への進出を考えているので借りておられるとのことでした。このことは昨年11月の市報 p3 に詳しく書かれています。日常の管理は「園北ファーム」代表の内田さんという方が、ここや他の農地であいウィルや地元の方と野菜を栽培されていて、できたものを JR 尼崎駅の改札前で、あいウィルが「尼崎駅の八百屋さん」として定期的に販売されています。今回の活動には JR 尼崎駅長の他、多数の JR 尼崎駅の社員の方が制服でお手伝いに来ていただき、子どもたちに収穫の指導をして頂きました。

参考：「JR西日本あいウィル」さんのQRコードはこの記事の最後部分に示しています。

里芋掘り方法

子どもたちは内田さんやあいウィルの所長さんから有名な「田能の里芋」の説明を聞いたのち、JR西日本の職員さんに掘り方を教えてもらい、４人一組に別れて作業を開始。里芋を重いクワで掘り出そうと必死。女子生徒もクワを持ちました。里芋は外からは全く見えない大きなもので、なかなか掘り出せないので4方向からゆっくり掘り、やっと出てきました。でも土だらけ。2人で持ち上げて地面にドスンと落とす。少し土が落ち、何回か繰り返しやっと親里芋が顔を出しました。そのあと皆で小里芋を順に外す。一つの親芋から子里芋は10個位採れました。

多くの協力者

近くからお手伝いに来られた方が子どもたちのために、額田公園や弥生ヶ丘墓園のトイレは少し遠いので、自宅のトイレを貸されました。全員が協力して作業をしたので１時間弱ですべて里芋が掘れ、関係者の皆さんが500gごとビニール袋に入れ、生徒全員に配りました。子どもたち、帰路も疲れを見せずきっちり歩き、昼食に間に合う時間に学校に戻りました。子どもたちには貴重な体験でまたお世話いただいた関係者さんやお手伝いの皆さんとの連携が非常にうまくいき、すばらしいイベントの実施でした。「どうだった？」と一人の生徒に後で聞くと「とても楽しかった」と。またお手伝いの方も「子どもたちと関われて楽しかった」、「初めての里芋掘りをして楽しかった」と。皆さん、本当にお疲れさまでした。

地域学校協働活動：地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子供たちの成長を社会総がかりで支える活動

コーディネーター：地域学校協働活動に関し、地域住民と学校との情報共有や助言等を行う人。

「あいウィル」さん

小中島診療所からのお願い

今年も昨年同様コロナやインフルエンザが流行しております。
発熱・咳・鼻水・のどの痛み・声がれ・下痢・吐き気・嘔吐などいつもと違う症状の方は、診療所に連絡してください。
定期的に受診されている方も同様来院前に、必ずご連絡をお願いします。　Tel 06-6491-5138